

---

# 特ラ機構レポート

No.163

平成 30 年 7 月 1 日

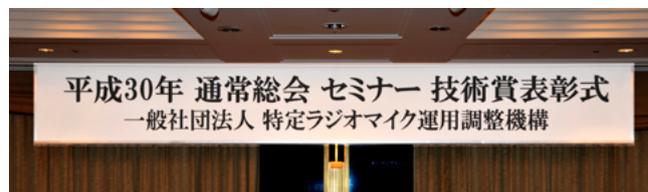
---

平成 30 年 通常総会報告 .....	2
新規加入会員紹介コーナー .....	11
平成 30 年度情報通信月間参加行事 セミナー .....	13
イベントの情報 .....	16
ちょっとブレイク .....	17
地上デジタル放送の高度化 (4K・8K) に向けた 名古屋地区実証実験のお知らせ .....	19
事務局便り .....	20



# 平成30年「一般社団法人 特定ラジオマイク運用調整機構」通常総会 報告

平成30年6月8日(金)、東京都中野区の「中野サンプラザ」において、表記に関する各種議案を審議し、関連行事を実施した。



- |                      |  |     |        |          |
|----------------------|--|-----|--------|----------|
| <b>1. 通常総会</b>       | 14:00 ~ 15:30  | 11階 | アネモルーム |          |
|                      | 平成29年度事業報告、同年収支決算ならびに監査報告<br>平成30年度事業計画(案) 同年収支予算(案)<br>理事・監事の選任及び新理事の増員、その他<br>(総会議事終了後、平成30年度第1回理事会開催) |     |        |          |
|                      |  |     |        | 出席者 680名 |
| <b>2. 総会セミナー</b>     | 15:40 ~ 16:10  | 11階 | アネモルーム |          |
|                      | テーマ 『地上4K・8K放送の検討状況』   |     |        |          |
|                      |  |     |        | 出席者 85名  |
| <b>3. 第18回技術賞表彰式</b> | 16:30 ~ 17:45  | 11階 | アネモルーム |          |
|                      |  |     |        | 出席者 80名  |
| <b>4. 懇親会</b>        | 18:00 ~ 20:00  | 14階 | クレセント  |          |
|                      |  |     |        | 出席者 95名  |

## 1. 通常総会

司会の木村事務局長から、総会員数1,267のうち出席者41名、委任出席者639名で定款第21条の通常総会開催のための議決権の過半数を有する正会員の出席があり、本通常総会は成立するとの報告があった。

### 総会の議長選出

定款第19条により議長は渡邊理事長が担当した。

### 理事長挨拶

ついに「平成最後の1年」のカウントダウンが始まりました。

ワイヤレスマイクが特定ラジオマイクとして制度化されたのは平成元年です。当初は現行周波数帯のうちFPU4帯<sup>\*1</sup>(797~806MHz)のみの割り当てでしたが、FPUとの共用が必須ということで、翌2年の7月に当機構の前身となる「特定ラジオマイク利用者連盟」が結成されました。そして、旧郵政省(総務省)の指導のもと、日本放送協会、日本民間放送連盟との三者により「FPU・ラジオマイク運用連絡協議会」を設立。

全国すべての放送局との運用協定が結ばれ、制度化された特定ラジオマイクの運用が開始されたのです。

その現行周波数帯が「平成」という元号と共に幕を閉じようとしています。

特ラ機構を率いてきたこの1年を振り返ると、成し遂げられなかったことも幾つかありました。その完遂を目指すことはもちろんですが、周波数移行期間終了の今期が「平成最後の1年」になるわけですから、特ラ連時代まで遡ってこれまでに積もった塵を払い、改めて過去の清算をしてから新しい元号を迎えることも大切な役目だと考えています。

29年度も、自然災害、地球温暖化、テロリズム、ミサイル、ハラスメント等々、明るいニュースが少ない年でした。そんな私たちの日常に、勇気と感動、活力と潤いを与えてくれたのがスポーツであり音楽や演劇、舞踊、映画などの芸術文化です。

なかでもその最たる祭典がオリンピック・パラリンピック競技大会でしょう。

記憶に新しい2月の平昌冬季大会でも開会式や閉会式でスポーツと実演芸術との融合が見られましたし、アスリートの戦いに心を熱くしました。カーリングではラジオマイクも大活躍していました。

日本では東京五輪前年の9月にラグビーW杯2019が開催されるため、海外からのメディアの受け入れなども含めた周波数対策を一足早く取ることで実運用での実証が可能になるでしょう。引き続き両組織委員会との連携を密にして、「W杯も含めた新旧競技会場とその周辺におけるTVホワイトスペースでの使用環境を整えることの重要性」を、関係機関に説明・説得し、現地での遮蔽損失調査<sup>\*2</sup>を実施するなど、早期の対応をお願いして参ります。また、8月からは2020年の実運用を検討する取り組みの一つとして、地上デジタル4K・8K放送の実験試験局の運用も開始する予定です。

この地上4K・8K放送の今後の動向については、本日の総会セミナーでNHKアイテック事業開発部長の岩田昭光氏に解説して頂きます。

特ラ機構では新周波数帯での運用調整に主眼を置き、TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会の事務局運営においても、電波技術協会との協同から協働へと歩み出した動きを絶やすこと無く、新しい時代に適応した公正な規約改定を目指して連携していきます。今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



司会の木村事務局長



渡邊理事長



松崎主査(左)と石川統括チーフ

\* 1 FPU (Field Pickup Unit) : TV 放送用の無線中継伝送装置で1～4帯(チャンネル)がある  
 FPU 4帯(797～806MHz帯) : アナログ平成元年制度化、平成2年共用開始  
 FPU 2帯(779～788MHz帯) : アナログ平成6年制度化  
 FPU 1～4帯(770～806MHz帯) : デジタル平成21年制度化

※ FPU 1～4帯は全て既に1.2GHz帯及び2.3GHz帯に移行完了している

\* 2 遮蔽損失調査 : 施設内で使用する特定ラジオマイクの電波が施設外へ漏洩する強さを測定し、壁面や観客席などによる遮蔽損失量(壁面等により電波が遮られた量)を求めること

## 第1号議案

### 平成29年度業務報告

1. 会員数と所有特定ラジオマイク局数
2. 運用連絡・調整
3. 総務省・A R I B
4. 周波数移行に関する事項
5. 情報収集と調査研究
6. 事務局
7. 理事会 各委員会 並びにプロジェクト
8. 組織と管理

以上の主要項目の報告を石川統括チーフが行った。

### 平成29年度収支決算報告並びに監査報告

収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書の内容については木村事務局長が報告を行い、監査報告は監事の伊藤、國枝両氏を代表して、伊藤監事が行った。

質疑応答を経て、上記の第1号議案は異議なく承認された。



監事の伊藤氏(左)と國枝氏

## 第2号議案

### 平成30年度事業計画(案)

#### 議長：渡邊理事長報告

今年度末の平成31年3月31日、周波数の移行期間が終了します。

平成30年度、先ずは他の組織との連携強化策として、移行完了後の「TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会」における新たな組織の在り方と運営費の検討を行い、格差のない運営と運用を目指します。次に、TVホワイトスペースチャンネルリストの摘み残された課題解決と関連するソフトウェア改修の実施を行います。また、今年度を2019年秋開幕のラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック競技大会の準備期間と捉え、両組織委員会および総務省への全面協力体制を築きながら、会員への情報提供に努めていきたいと考えております。

新運用調整システムは改修を重ね、メインシステムとして放送局・特ラ機構・エリア放送・実験試験局等が利用し、機能を発揮しています。利用者が今後どのような形で「協議会」を支えていくのか。先ずは今年6月26日に開催される「協議会・総会」に向けて5～6月に行う「組織・運営の在り方検討班」や「幹事会」で移行完了後の運営についての協議を行います。当機構の登録局数に連動して支払う「協議会負担金」から事務局費として割り戻される率の見直しなど、急を要する事項から詰めの協議を続けて行きます。

今年度もTVホワイトスペース帯および1.2GHz帯の特定ラジオマイク運用の将来を見据えながら、協議会の運営を積極的に支えていきますが、着地点で特ラ機構会員への不平等感が出ないようにバランスを取りながら確りと努めて参りますので、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

1. 会員数と所有する特定ラジオマイク局数
2. 運用連絡・調整
3. 免許申請
4. 新運用調整システムについて
5. 総務省・A R I B
6. 周波数移行に関する事項
7. 情報収集と調査研究
8. 事務局
9. 理事会・各委員会

### 平成 30 年度 収支予算（案）

平成 30 年度収支予算（案）は松崎主査から報告された。

質疑応答を経て、上記の第 2 号議案の平成 30 年度事業計画（案）および収支予算（案）は異議なく承認された。

### 第 3 号議案

#### 平成 30・31 年度（2018・2019 年度）理事・監事の選任 及び 新理事の増員

定款第 4 章 役員の任期第 29 条により、現役員の任期 2 年到達を迎えて以下の経緯をもって新理事・監事を選任した。

#### 理事・監事候補者推薦委員会

日 時 平成 30 年 1 月 22 日（月） 15：00 ～  
場 所 （一社）特定ラジオマイク運用調整機構事務局  
委員長 渡邊邦男  
委 員 鈴木久利 則行正信 木村和子

平成 30・31 年度の役員推薦について、理事・監事候補者推薦委員会より会議の結果として、平成 29 年度第 5 回理事会に下記の案が諮られ、審議の結果決議された。

- ① 平成 30・31 年度の理事・監事体制は原則現体制を維持する。
- ② 現理事に追加する形で、新理事として、  
㈱エディスグローヴ 代表取締役 小林 敬 氏 を推薦し、就任を依頼する。

上記の第 3 号議案は異議なく承認された。

### 第 4 号議案

#### 役員退職金

前理事長 田中章夫氏退職の際に、3,000,000 円の役員退職金を支払った。

上記の第 4 号議案は異議なく承認された。

ここで総会を 15 分休憩して、平成 30 年度第 1 回理事会を開催、新理事を含む理事・監事の選任が総会で承認された旨の報告を行い第 1 回の理事会を終了、総会を再開。

## [理事会報告] 平成30年度 第1回 理事会

1. 日 時 平成 30 年 6 月 8 日 (金) 15 : 15 ~ 15 : 30
2. 場 所 「中野サンプラザ」 11 階アネモルーム
3. 出席者 (会長・理事・監事総数 23 名)
- [会長] 八幡泰彦 [理事長] 渡邊邦男
- [理事] 石橋 透, 小野良行, 小俣公洋, 金光浩昭, 北口紀雄,  
小林 敬, 鈴木久利, 田中勝久, 津田浩之, 西澤勝之,  
則行正信, 萩原桂吾 (代理 野上拓哉), 橋本喜代志,  
本間俊哉 (前理事 矢野 学), 右田研介
- [監事] 伊藤 博, 國枝義久

委任出席

[理事] 上田好生, 小間新五, 橋本秀幸, 吉田廣嗣

### 4. 報告事項

#### (1) 平成 30・31 年度 理事・監事の選任及び新理事の増員

平成 30 年通常総会において、理事・監事候補者推薦委員会の推薦と平成 29 年度第 5 回理事会の決議を受けた現体制の維持が承認された。

又、現理事に追加する形で推薦された、(株)エディスグローヴ 代表取締役 小林 敬 氏 の新理事就任が承認された。

第 1 回理事会で承認を受けた理事・監事の就任報告と自己紹介があり、総会は終了した。



承認された理事・監事の方々

## 2. 総会セミナー

### 平成 30 年通常総会セミナー テーマ『地上 4K・8K 放送の検討状況』

平成 30 年 6 月 8 日、中野サンプラザに於いて行われた当機構 通常総会の後、株式会社 NHK アイテック 営業本部 (企画開発) 統括部長 岩田 昭光氏を講師に迎え『地上 4K・8K 放送の検討状況』と題して総会記念セミナーが行われた。

講演の内容については大きく 7 項目に分けられ、はじめに 4K・8K 推進のためのロードマッ

プとして2020年の東京オリンピック・パラリンピックから2025年までの衛星放送を始めとする実験放送などのスケジュールが示された。

2～4項目では4K・8Kの高品位な画像に関する技術的解説があり、その後総務省のチャンネル確保に関する取り組みや官民あがての受信環境の開発や整備などの活動報告が述べられた。

5～6項目は既存の地デジのチャンネルで地上4Kを実現するための研究開発が紹介され、ブラジルをはじめ諸外国に於ける取り組みなども紹介された。

最後に地上テレビジョン高度化技術に関する研究開発として、今後、都市部をモデルケースとする実験放送などの取り組みが説明され、東京・名古屋、での実証実験に関する「協力のお願ひ」などの報告が行われた。



講師を務められた岩田昭光氏

この実証実験はTVホワイトスペース帯で行われるため、当機構会員ならびに関連施設等にも大きく関係してくる当機構事務局では、実験試験局の電波発射スケジュールや停波情報などをホームページで告知するなど敏速な会員サービスに努め、実験を成功させたい。



熱心に耳を傾けるセミナー受講者

### 3. 第18回技術賞表彰式

渡邊技術賞委員会 委員長（理事長）が、作品介绍とインタビューを交えて表彰式を行った。八幡会長は朝子夫人と共に参加され、会長自ら八幡賞を手渡された。



朝子夫人とともに八幡会長が出席



技術賞を受賞された方々

※詳細は特ラ機構レポート164号に掲載いたします。

#### 4. 懇親会

懇親会に先立ち、司会の甲田乃次（テクニカルチーフ）から通常総会においてすべての議案が承認された旨が報告された。その後、渡邊邦男理事長から挨拶があり「これから益々、特定ラジオマイクを使いやすくしていきたい。懇親会では、音の話で皆さん楽しく盛り上げてほしい」と述べた。その後、来賓としてご参加頂いた以下の方々の紹介があった。



司会の甲田テクニカルチーフ



挨拶する渡邊理事長

総務省総合通信基盤局電波部移動通信課第一技術係 係長 鈴木勝裕 様  
関東総合通信局無線通信部 部長 林 義也 様  
関東総合通信局無線通信部陸上第三課 課長 二宮哲夫 様



鈴木 勝裕様



林 義也様



二宮 哲夫様



ナビゲーターを務めた小澤麻友さん



技術賞受賞者の紹介と話を聞き出す渡邊理事長

来賓として、鈴木勝裕様（総務省総合通信基盤局）から以下のようにご挨拶を頂いた。  
「技術賞の表彰作品などを拝見して、改めて作品における音の重要性を実感させられた。作り手やラジオマイクを扱うメーカーの方々、運用調整を行う特ラ機構の努力の結晶だと感じた。

また電波行政としては、ひとつの周波数を多くのシステムで共用する流れになっている。特定ラジオマイクについては、まさにこの周波数の共用をやって頂いている。これから周波数の共用が当たり前になっていく中で、それらのノウハウや技術が必要になってくると感じている」

続いて、林 義也様（関東総合通信局無線通信部）からご挨拶を頂いた。

「行政を司っていると、どうしても書類だけの世界になる。こういう場で、音を扱っている、機材を使って作品を仕上げている皆様とお会いできるのは貴重な機会だと思っている。表彰式では、若い世代の高いレベルでのチャレンジの成果を観て、大変感動している。普段見ているドラマや舞台などの中にも、非常に高いこだわりや工夫があることを、この歳になってようやく感じ入っている。私どもとしても若い世代を育て、皆様の責任感や成果に貢献できるようにしていきたい。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、世界中から音と映像のプロが来日する。世界中から瞬間的に膨大な量の電波の要求が来る。ご協力をお願いしたい」

来賓のご挨拶の後、引き続いて林様から乾杯のご発声を頂き、懇談となった。途中、技術賞表彰式のナビゲーターを務めた舞台女優の小澤麻友様（「お布団」所属）と渡邊邦男理事長の司会で、技術賞受賞者の紹介を行い、懇親会に花を添えた。

中締めは信井文夫様（株式会社映像新聞社 代表取締役会長）から力強い三本締めを決めて頂き、平成30年度通常総会の懇親会はお開きとなった。



中締めの信井文夫様



## お詫びと訂正

### 「平成 30 年度 通常総会 『総会ならびに議案書』 の訂正

#### 1 頁 【総会セミナー】 の講師

〔正〕 株式会社 NHK アイテック

営業本部（企画開発）総括部長 岩田 昭光 氏

※\_\_\_部分が訂正箇所

#### 14 頁 第 17 回特ラ機構技術賞 10 行目に追加

##### 7. 一般部門 努力賞

WOWOW/WOWOW エンタテインメント

BEGIN25 周年記念コンサート・ライブレコーディングチーム 代表 中村 寛 殿

タイトル

**収録作品「Sugar Cane Cable Network」 ツアー 2015-2016 at 両国国技館**

「PA との分岐回線とは別に 独自に 13 波の特定ラジオマイクを駆使した太鼓の録音で  
超大型コンサートの高音質サラウンド収録を成功させた努力を称えます」

##### 8. 一般部門 審査員奨励賞・八幡賞

株式会社 エディスグローブ 第一事業部 村木 まどか 殿

タイトル

**「ホワイトスペース帯用レポート～チャンネルリスト検索システムを活用する～」**

「ミュージカル南太平洋において、チャンネルリスト検索システムを活用し独案  
により成功に導いた努力を評価します」

##### 9. 一般部門 奨励賞

日本放送協会 濱住 啓之 殿

タイトル

**「OFDM 方式デジタルラジオマイクの開発と実用化」**

「高品質なリニア PCM 音声信号を、1 ミリ秒以下の低遅延で伝送可能な OFDM 方式特  
定ラジオマイクの開発と実用化を行ったグループの活動をたたえます」

**新規加入会員紹介コーナー**

平成 30 年 3 月～ 30 年 4 月

**東 北**

●有限会社山形総合舞台サービス 会員番号 020-0041  
取締役 安達 俊章 入会：平成 30 年 3 月 29 日 移動 シュア…4 局  
〒 990-2331 山形市飯田西 5-6-14  
運用担当者 伊藤 泰博 TEL 023-631-5589 E メール yamagata-sbs@gray.plala.or.jp

●有限会社パラダイスプロ 会員番号 020-0042  
代表取締役 佐藤 郁夫 入会：平成 30 年 4 月 12 日 移動 ベイヤーダイナミック…6 局  
〒 984-0806 仙台市若林区舟丁 16 小林ビル 1F  
運用担当者 高橋 宏明 TEL 022-723-5574 E メール h.takahashi@paradisepro.main.jp

**関 東**

●浮亀 宣貴 会員番号 030-0886  
浮亀 宣貴 入会：平成 30 年 3 月 12 日 移動 シュア…2 局  
〒 156-0041 世田谷区大原 1-39-16 シャルム コート 101  
運用担当者 浮亀 宣貴 TEL 090-4997-5525 E メール fuki0924@yahoo.co.jp

●株式会社ミスミグループ本社 ((株) ミスミグループ本社会議室) 会員番号 030-0888  
代表取締役 大野 龍隆 入会：平成 30 年 3 月 15 日 固定 シュア…72 局  
〒 112-8583 文京区後楽 2-5-1 飯田橋ファーストビル  
運用担当者 南里 有美 EL 03-5805-7370 E メール office\_facility@ml.misumi.co.jp

●合同会社 Acoustic Dub 会員番号 030-0889  
代表社員 飯島 弘敬 入会：平成 30 年 3 月 19 日 移動 シュア…4 局  
〒 140-0013 品川区南大井 3-24-8-706  
運用担当者 飯島 弘敬 TEL 03-3298-1118 E メール acoustic-dub@acoustic-dub.co.jp

【ひとこと】映像・音響・照明機材の技術サービスを行っております。設立 5 年目を迎え、  
音響にも力を入れております。宜しく願いいたします

●株式会社アズプロジェクト 会員番号 030-0890  
代表取締役 秋山 雄大 入会：平成 30 年 3 月 19 日 移動 シュア…8 局  
〒 160-0004 新宿区四谷 4-6-10 ビクトリアセンター 10F  
運用担当者 秋山 雄大 TEL 03-5368-1694 E メール charlie@as-project.com

●加藤 温 会員番号 030-0891  
加藤 温 入会：平成 30 年 3 月 22 日 移動 シュア…6 局  
〒 151-0064 渋谷区上原 3-43-5-501  
運用担当者 加藤 温 TEL 090-7225-6984 E メール y-kato@mf.point.ne.jp

●株式会社フリックプロ 会員番号 030-0892  
代表取締役 本間 俊哉 入会：平成 30 年 4 月 2 日 移動 WISYCOM…8 局  
〒 158-0097 世田谷区用賀 2-31-6 イイダアネックス X104  
運用担当者 本間 俊哉 TEL 070-6669-4654 E メール toshi@flicpro.com  
【ひとこと】お世話になります。どうぞよろしく願い申し上げます。

●株式会社 SMC エンタテインメント 会員番号 030-0893  
代表取締役 村 健次 入会：平成 30 年 4 月 9 日 移動 シュア…12 局  
〒 156-0042 世田谷区羽根木 2-1-4 メインステージ代田橋 204  
運用担当者 鈴木 康裕 TEL 03-5300-9665 E メール yass@smc-group.com  
【ひとこと】このたび、新規加入させていただきました。宜しく願い致します。

## 近 畿

---

●株式会社 バイタルアートボックス（道頓堀 ZAZA） 会員番号 070-0286  
代表取締役 吉本 常洋 入会：平成 30 年 4 月 5 日 固定 シュア…8 局  
〒 542-0071 大阪府中央区道頓堀 1-7-21 中座くいだおれビル B1  
運用担当者 木元 太介 TEL 06-4963-2030 E メール k.daisuke@vitalartbox.com

●株式会社 エービー企画 会員番号 070-0287  
代表取締役 勝部 伊織 入会：平成 30 年 4 月 24 日 移動 シュア…4 局  
〒 520-0032 大津市観音寺 2-6  
運用担当者 勝部 伊織 TEL 077-522-1676 E メール kaio@ab-kikaku.co.jp  
【ひとこと】滋賀・京都を中心にPA、公共文化ホール舞台技術管理、放送音声、イベント制作などの業務を行っております。現地機材出、現地増員承ります。どうぞ宜しく願い致します。

## 中 国

---

●オハラ企画株式会社 会員番号 080-0063  
代表取締役 岩城 庸人 入会：平成 30 年 3 月 15 日 移動 ソニー…12 局  
〒 680-0824 鳥取市行徳 1-301  
運用担当者 大黒 裕典 TEL 0857-22-2710 E メール daikoku@oharakikaku.com  
【ひとこと】鳥取県内を中心に音響・照明事業をしております。宜しく願い致します。

## 平成30年度情報通信月間参加行事 セミナー

平成30年度情報通信月間は「ICTでつなげるひろがる明るい社会」をテーマに、5月15日(火)～6月15日(金)の期間、開催されました。

6月13日(水)、当機構もその一環として“ルールを守って、クリアな運用”を旗印に、恒例のセミナーを東京九段下にある総務省関東総合通信局にて同局との共催で行いました。

特定ラジオマイクと他システムとの運用調整の要となる「TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会」についての説明、当機構の会員の皆様には是非とも知って頂きたい「周波数移行後の特定ラジオマイク運用における様々な課題と今後」などがセミナーで解説されました。

また併せて、3年振りとなる関東総合通信局の電波監視システム見学会も実施しました。

定刻になり、当機構理事長 渡邊邦男より、「本日はお暑い中お集まり頂き、誠にありがとうございます。今回のセミナーはで新周波数帯への移行が完了した現在、電波技術協会と特ラ機構で運営を行っている“TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会”が専用帯を含むTVホワイトスペース(以下、WS)帯、1.2G帯および移行後のFPUで使用している2.3G帯までの電波の運用調整をどのように行っているのか?その仕事の内容などをこの機会にご理解頂きたいと思っております。また、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック終了後の、各地の競技場や使用施設における、特定ラジオマイク有効利用のためのTVWSチャンネルリスト検討や施設の遮蔽損失率についてもお話させていただきますので、参考になさってください。」との挨拶がありました。



特ラ機構渡邊理事長

続いて、関東総合通信局 無線通信部 陸上第三課課長 二宮哲夫様より、「本日はお集まり頂き、誠にありがとうございます。平素より情報通信にご協力頂き、ありがとうございます。先ほどお話があったラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックにおいては、世界中のメディアが自分の国で使っている無線機を持ち込んでくるので、非常に大変な状況になります。その状況を乗り切るためには運用整理が必要不可欠となります。総務省としては周波数の割り当て、免許制度の在り方を考えなければなりません、特



二宮哲夫様のご挨拶

ラ機構のご協力が無ければ正確な運用は出来ないのでは、特ラ機構の重要性が高まっていると感じます。セミナーの後には電波監視システムの見学会もありますので、今日一日が有意義な日だったと思って頂けたら幸いです。」とのお挨拶を頂きました。

第1部のセミナーは、「TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会について」と題して、講師はTV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会事務局副室長の平島 茂様に務めて頂きました。目次としては下記、3項目になります。

- ① TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会の概要
- ② 運用調整コンピュータシステムを用いた運用調整方法
- ③ 運用調整の仕組み

①では協議会の組織図や会員数、運用実績など、②ではチャンネルリストについて、運用調整コンピュータシステムへの運用登録の仕方など、③では特定ラジオマイク間・エリア放送・マラソンコースなど広域利用などのケースにおける運用調整の判定基準などについてのご説明がありました。



第1部講師の平島 茂様

第2部のセミナーは、「アフターオリンピック・パラリンピックを考える」と題して、講師は当機構のテクニカルチーフ 甲田 乃次が務めました。

まずは周波数移行を振り返っての問題点と課題を挙げていきました。WS 帯・専用帯・1.2G 帯におけるニーズと運用形態について、周波数移行を経たWS 帯のアナログ・デジタルラジオマイクの局数の推移における考察を行い、特に1.2G 帯のラジオマイクが近年非常に増えていて、展示会でも多用され、固定局での登録もふえているとの説明がありました。

TVWS チャンネルリストについては、適応エリアの整合性や施設名称の速やかな変更などを今後の課題と位置づけ、建築設計の段階から遮蔽損失率を検討するチャンネルリスト検討の新たな流れが生まれていることを踏まえ、オリンピック・パラリンピックの後にも有効活用出来る施設にしていくことが望ましいと論じました。



第2部講師の特ラ機構 甲田テクニカルチーフ

セミナーに続いて、関東総合通信局内に設置されている電波監視システム「DEURAS」の見学会を行いました。DVDの映像による監視業務の概要説明を受け、電波監視システムを使った電波測定デモンストレー

ション、過去の探査・移動監視の実例のほか、FMトランスミッターや携帯電話抑止装置、海外向けワイヤレスマイクなどによる電波障害の説明を受けました。また、不法電波に目を光らせる探索車「DERAS-M」の見学など、参加者の方々からも熱心な質疑応答が繰り広げられ、充実した内容の見学会となりました。



不法無線探索車（DERAS-M）を囲って質疑応答



電波障害分析課荒川様からのご説明

今回のセミナー参加者は 37 名、電波施設見学会は 19 名でした。皆様お忙しい中でのご参加ありがとうございました。最後に、ご公務のお忙しい中、電波監視システムの見学会のご準備を頂きました、関東総合通信局の皆様には重ねてお礼を申し上げます。

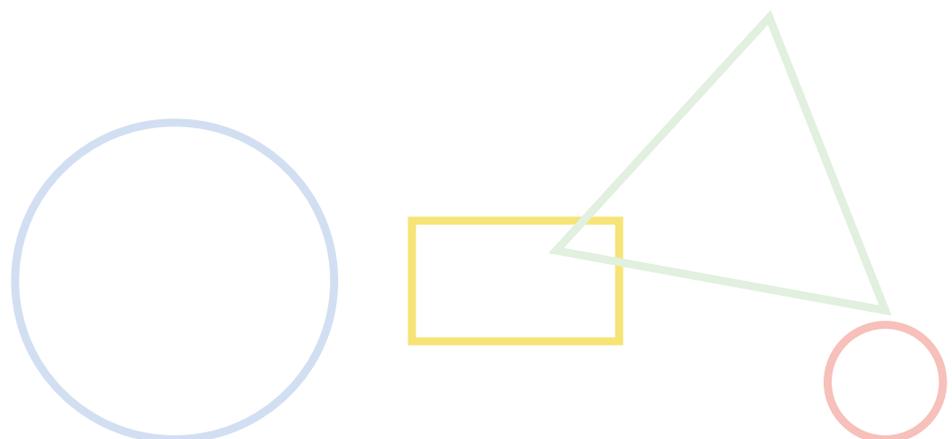


電波監視システム（DERAS）の見学



セミナー会場

(坂入)



## イベントの情報

2016年から8月11日が「山の日」と定められ、今年は3回目となりますが、皆さんの夏季休暇のスケジュールはお決まりですか？

夏は様々なイベントが増える季節となりますが、熱中症対策等は万全に、事故のないよう気をつけてください。

いつもながら運用連絡は、正確なデータを早めに（運用2日前まで）お願い致します。

イベントカレンダー、その他から主なイベントを拾ってみました。7月中旬～9月中旬までのものです。

日 程	展 示 会 名	会 場
7月25日～27日	★ SPORTEC2018	東京ビッグサイト
7月25日～27日	★第26回ヘルス&フィットネスジャパン2018	東京ビッグサイト
7月28日	第41回隅田川花火大会	隅田川周辺
8月9日～12日	★第65回よさこい祭り	高知中心部各所
8月18日～19日	★サマーソニック2018 東京	ZOZO マリンスタジアム&幕張メッセ
8月18日～19日	★サマーソニック2018 大阪	舞洲 スポーツアイランド
8月20日	★2018神宮外苑花火大会	神宮外苑周辺
8月22日～24日	★第20回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー	東京ビッグサイト
8月23日～25日	★JAPAN DIY HOMECENTER SHOW2018	幕張メッセ
8月25日	★第37回浅草サンバカーニバル2018	浅草周辺
8月26日～27日	★C3 AFA TOKYO 2018	幕張メッセ
8月28日～30日	★ジャパン ジュエリーフェア2018	東京ビッグサイト
9月5日～7日	★JASIS 2018 (旧 分析展/科学機器展)	幕張メッセ

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

## ちょっとブレイク

## モータウン・サウンドに関するお勧めの作品紹介

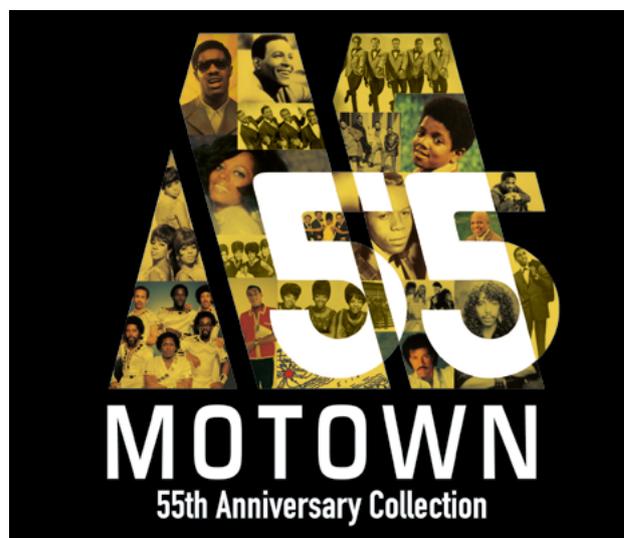
## 「永遠のモータウン コレクターズ・エディション」 Blu-ray & DVD

1960年代日本のポップシーンのみならず世界の音楽シーンに多大なる影響を与えたモータウン・サウンドを支えたスタジオ・ミュージシャン（ファンク・ブラザーズ）にスポットライトを当てた傑作ドキュメンタリー。本編は2004年劇場公開された作品だが本作品は本編未収録場面集を含んでおり、特にスタジオAの歴史で語られる初期のモノラル録音でのノウハウであったり、モータウン・サウンドを分析するドラマーでプロデューサーのステーブ・ジョーダンが同時代を代表するフィル・スペクターのウォールサウンドとの比較コメントなどサウンドエンジニアには興味深いものがあります。

## 「MOTOWN 55th Anniversary Collection」 ゴイング・トゥ・ア・55〈モータウン創設55周年記念盤〉

2014年に55周年を迎えたモータウン・レーベルの数多くのヒット曲の中より日本独自に選曲されたCD3枚組の55曲 CD1より年代ごとに納められており録音の歴史を探るのにも勉強になります。（CD1～2が主にファンク・ブラザーズがサポートしている。）

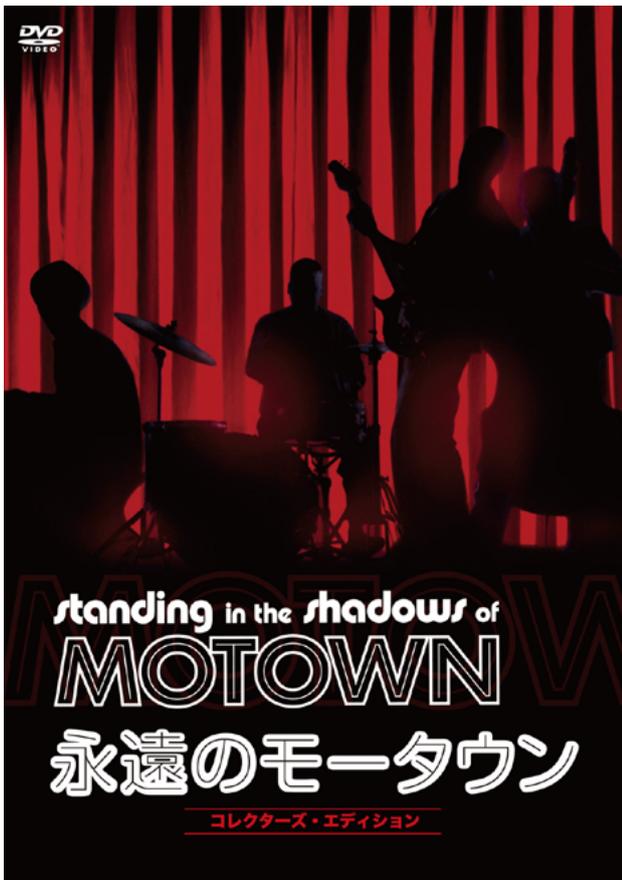
別の資料からも当初のモノラルから2トラックレコーディングを経て、1964年にスタッフエンジニアのマイク・モリーンにより8トラックが導入されたとの事、シュープリームスの1965年ストップ・イン・ザ・ネーム・オブ・ラブあたりからは、もう今のミックスバランスに近いものを感じます。



稀代のヒットメーカー、ベリー・ゴードーにより創設されたモータウン・レーベルの創業地アメリカ ミシガン州 デトロイト、ウエストランド・ブルーヴァード 2648 番地での最後の録音は1974年テンプレーションズによるパパ・ワズ・ア・ローリング・ストーンになってしまいました。（現在、同施設は歴史資料館として保存されている。）

最後に、MOTOWN 永遠のモータウンコレクターズ・エディション未収録場面のファンク・ブラザーズとのタベ、間に合わなかったメンバーのところは感動もの、プロデューサー、音楽監督を務めたアラン・スラッキー氏に感謝。ぜひ若いエンジニア諸君には両作品を聴き比べて頂き、熱いグルーヴ感を感じて頂けたらと思います。

裏話ですが・・・因みに最近では多くのバンドで使用されているワイヤレスのイヤモニターですが元々は1985年頃、当時スティービー・ワンダーのエンジニアで英国人エンジニアのクリス・リンドップがラスベガスでの公演での送り



返し用にLAのモータウン・スタジオにあったFMトランスミッターを使ったのが始まりと聞いています。

充実の作品群、ぜひお試しを！！

(特ラ機構 事務局 甲田 乃次)

ご協力

株式会社ポニーキャニオン プロモーション Div  
「永遠のモータウン コレクターズ・エディション」

Blu-ray 2枚組 ¥4,800- (PCXE-50749) (税別)

DVD 2枚組 ¥3,800- (PCBE-55529) (税別)

発売元：ジェットリンク

販売元：ポニーキャニオン

ユニバーサル ミュージック合同会社

「MOTOWN 55th Anniversary Collection」

ゴーイング・トゥ・ア・55 (モータウン創設 55周年記念盤)

ユニバーサルミュージックより発売中





## 地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた 名古屋地区での実証実験がいよいよ始まります！

地デジ高度化実証実験の試験電波が、平成30年8月上旬から愛知県弥富市（鍋田局）で、同年9月下旬から名古屋市昭和区（東山局）でTVホワイトスペース帯を使い発射される予定です。

詳しくは、「地デジ高度化実験受信対策センター」のホームページをご覧ください。

<http://www.tvkoudoka.jp/>

名古屋地区でTVホワイトスペース帯の運用を計画されている会員は、上記ホームページの確認をお願いいたします。

また、当機構ホームページにも「地デジ4K・8K実験試験局情報（名古屋）」を開設します。ここでは、電波発射スケジュールや運用調整情報など特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしていきますので、ご活用下さい。

<https://www.radiomic.org/>



## 事務局便り



特定ラジオマイクの運用連絡票は

**極力、運用 2 日前**（※）までに提出してください！

運用直前の提出は運用調整のための打ち合わせが出来なくなる恐れがあります。運用場所周辺の他会員様や放送局様へご迷惑がかかってしまうこともありますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※ 特ラ機構事務局が休みとなる、日・祭日を除いた 2 日間です。

### 特定ラジオマイクの運用連絡票は 記入漏れ・誤りのないようお願いします！

#### <注意すべきポイント>

- ① 会員番号は正確に
- ② 催事名は必ずご記入下さい
- ③ 現地担当のご連絡先を忘れずに
- ④ TVホワイトスペース帯はチャンネルリストに沿った、施設名・適用エリアを明記の上、運用チャンネルをご指定下さい  
※アナログとデジタル、使用できるチャンネルの間違いにご注意下さい

#### <運用連絡票を E メールに添付してご提出頂く際のお願い>

- ① Eメールの件名に運用日の記入をお願いします  
例：「運用日：平成 30 年 7 月 1 日～3 日」
- ② Eメールに添付する運用連絡票は、なるべく PDF ファイルにてお願いします（Excel も可）

### ■再免許状をお届け致しました

平成 30 年 5 月 31 日に有効期限を迎え、事務局扱いでマイクの免許更新手続きをして頂いた新免許状は、5 月下旬に当機構事務局から当該会員のご担当者宛に送付させて頂きました。お手元の新しい免許状につきまして、記載内容を必ずご確認下さい。新免許状の記載内容にご不明な点等がありましたら、事務局免許担当の石川または坂入までご連絡下さい。

## ■平成 30 年度機構関係費用のお振込みをお願いします

平成 30 年度機構関係費用の請求書を 4 月下旬に送付させて頂きました。お振込み期限は平成 30 年 7 月 31 日です。機構は皆様の会費により運営されていますので、期日までのお振込みをよろしくお願いいたします。

## ■予算書の送付について

自治体、公共団体等の予算編成の時期がやってまいります。関係会員には平成 31 年度に必要な機構関係費用を「予算書」として 8 月頃に送付する予定です。「予算書」は次年度に特ラ機構から請求させていただく予定の金額を前もってお知らせするものであり、今年度（平成 30 年度）の金額ではありませんのでご注意ください。免許の有効期限が平成 32 年 5 月 31 日のマイクを保有している場合は、平成 31 年度中（平成 31 年 12 月～平成 32 年 2 月末日）に再免許申請が必要ですので、再免許関係費用も予算書に併記合算してお送りします。



## 編集後記

---

梅雨真ただ中の季節となりましたが、イベントも盛んになる時期です。

梅雨前線を刺激する熱帯低気圧や台風、そして今朝の（6 月 18 日）地震、最近各地で地震や火山の噴火など、心配事が頻繁に起きていますが、この梅雨時に大きな災害などは起きないことを願いつつ、頑張ってこの夏を乗り切りましょう。

（武藤）